

■図書館評価に係る満足度調査等について

1. アンケート案について

(1) 調査対象者

- ・各図書館来館者及び市LINE登録者

(2) 実施媒体

- ・用紙、ウェブ

(2) 設問

別紙6参照

2. 図書館評価に係る満足度調査の項目について

(1) 設問内容及び対象者

図書館評価に係る満足度調査については、経年での継続性を維持するため、設問内容は前回と同様とし、また対象者も前回同様、来館者とする。

(2) 前回調査（2022年）以降の取組みについて

①満足度経年変化

(5点満点)	2022年	2017年	2012年
1. 職員の応対について	3.49	3.47	3.36
2. 開館時間について	2.90	2.83	2.67
3. 休館日について	2.92	2.94	2.69
4. 閲覧用のいすや机の数について	2.42	2.62	2.51
5. 本や資料の探しやすさについて	2.90	2.80	2.73
6. 読みたい本や雑誌の充実度について	2.53	2.40	2.21
7. 他の利用者のマナーについて	2.92	2.73	2.57

②前回調査以降の取組みについて

※1 令和6年4月に庄内図書館を建替。

- ・レイアウトや図書の配置について、昨今の利用者ニーズも踏まえた利用者視点から全面見直しを実施。
- ・蔵書数自体は大きな増減はないが、図書の紹介方法等にも工夫をこらしている。職員の応対や利用者のマナー向上にもつながると期待している。

※2 令和7年4月には螢池図書館がリニューアルオープン。

- ・開館時間を月～木 19時までに延長（以前は19時までの開館は週2回）。
- ・人気のある新刊本等は閲覧専用コーナーに配架し、貸出中でいつまで経っても読めないといった事態を防ぐ。
- ・子育て世帯への居心地向上を意識し、寝転んで読書できるようなスペースを設ける

など、レイアウトや配架図書等を大胆に見直し、閲覧環境の向上に寄与。

※3 その他、調査項目の数値向上に寄与する取組みは以下の通り。

○「1. 職員の応対について」

- ・令和5年度に職員の接遇研修、電話応対研修を実施
- ・令和6年度には多文化共生をテーマとした研修を実施

○「2. 開館時間について」、「3. 休館日について」

- ・令和5年度から豊中駅前に図書サービスポイントを設置し、予約資料の受取・返却がより便利に

○「4. 閲覧用のいすや机の数について」

- ・同年度に東豊中図書館に飲食可能スペースを設置。直接いすの数を増やすものではないが、閲覧環境の向上に寄与。
- ・野畠図書館に自習室を設置。

○「5. 本や資料の探しやすさについて」

- ・同年度から「図書館で一時保育」を実施。子育て中の方の読書環境等の向上に寄与

○「6. 読みたい本や雑誌の充実度について」

- ・令和4年度から電子図書館開設、令和6年度からタブレット端末貸出開始。

(3) 今後の満足度調査の課題

上記、螢池図書館のリニューアルの方向性のように、図書や読書を介した交流や出会いの場、居心地の良い場所としての位置づけにも重きを置く昨今の図書館運営の方向性が反映された設問がない。